

若鮎



桧木内中学校報 No. 17

令和8年9月3日(木)

学校教育目標

「元気・温もり・感動」を伝える桧木内中学校

満喫！ふるさとの桧木内川

7月に予定していた桧中最後の川探検を、8月31日(月)、ようやく実施することができました。気温、水温共に低かったため、当初予定していた「川での遊泳」を「水辺での遊び」に変更して行いました。

最初に行った「水切り」大会では、よく飛んでくれそうな石を手に、水面で石を走らせる難しさを感じながら皆苦戦していたようです。続いて行った「石積み

み」大会では、バランスが取れるように黙々と石を選んだり積み替えたりする様子に、桧中生の集中力や根気強さを実感しました。「石積みが楽しかった(多数)」「去年と違う活動ができて良かった」などの感想が聞かれました。

川で泳ぐことはできませんでしたが、川辺でのひとときを過ごすことで、ふるさとの桧木内川と緑あふれる大自然を満喫することができました。私(牛木)も小学生の頃、大曲小学校と中川小学校との児童会の交流があって参加し、中川小近く?のきれいな川でいっしょに遊んだことを今でも覚えています。きっと桧中生も10年、20年、あるいは30年経っても、こうした体験を思い出して、同級生同士や先輩後輩で懐かしく語り合うことなのでしょうね。



わらび劇場で感動！

2日(水)、「黒紙の魔術師と白銀の龍」を観劇しました。「折り紙に命が宿る、動き出す」という内容で、秋田県出身の作家、鳥美山貴子さんの作品をミュージカル化したものだそうです。時代を超えた壮大なファンタジーであり、自分を大切にする勇気や誰かに寄り添う心、友情、家族愛等、様々なメッセージが込められた作品で、わらび劇場ワールドに皆引き込まれました。写真はパンフレットで折ったウロコを龍の体に貼り付ける様子です。「好きなことにまっすぐで何が悪い！」という台詞の通り、桧中生にも自分らしさを大切にして過ごしてほしいと感じました。

